



～日の出～

湖山で見た日の出です。低空に薄雲があったおかげで太陽の形を写すことができました。  
(2016.9/10, EOS7D+EF70-200mmF4L USM で撮影)

撮影者：三須 幸一郎 (知財部門長)

## 1月の特許相談会

※今月は鳥取地区のみで開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

### 【鳥取地区】

相談員：下田 一弘 弁理士  
(機能性材料・バイオ・太陽電池関係他)  
日 時：1月20日(金) 13:30より  
場 所：産学・地域連携推進機構 2階 会議室

相談員：富田 憲史 弁理士  
(医獣・バイオ関係他)  
日 時：1月20日(金) 13:30より  
場 所：産学・地域連携推進機構 2階 研修室

### 【目 次】

1月の特許相談会	1
【報告】CIC 東京新技術説明会	2
「鳥取大学特許集 2017」を準備中です	3
新年のご挨拶	4
【報告】特許相談会・発明審査委員会の件数	



# キャンパスイノベーションセンター東京 新技術説明会 医療・創薬・バイオ

- ★日 時：平成 28 年 12 月 1 日(木) 10:00～15:25
- ★会 場：キャンパスイノベーションセンター東京 5 階 B 会場
- ★主 催：科学技術振興機構、山形大学、千葉大学、東京工業大学、新潟大学、和歌山大学、奈良先端科学技術大学院大学、鳥取大学、広島大学、山口大学、高知工科大学、佐賀大学
- ★後 援：特許庁

キャンパスイノベーションセンター東京新技術説明会の医療・創薬・バイオ分野にて、農学部の上中弘典准教授が、未公開特許である「ラン科植物の発芽と共生を促進する技術」について、口頭発表及びポスター展示を行いました。口頭発表では 20 名が聴講し、その後 2 名と名刺交換を行い、研究内容等についての様々な意見交換を行いました。

## ラン科植物の発芽と共生を促進する技術

農学部・准教授 上中 弘典

### 《概 要》

植物ホルモンであるジベレリンの阻害剤の処理により、共生菌が存在しない状態での発芽、および自然環境下ではラン科植物の発芽と成長に不可欠な共生菌との共生の両方を、様々なランで促進可能である。本技術は、希少なランの人工培養だけでなく、ランの生育を促進させるのに有効であると考えられる。

### 《特 徴》

- ・人工培養条件では発芽困難な希少ランの発芽を可能にする
- ・ランの発芽・成長に不可欠な共生菌との共生を促進する
- ・既存の農薬がそのまま利用できる

### 《従来技術・競合技術との比較》

本技術と同様の効果を発揮可能な従来技術は、これまでに全く報告されていない。また本技術については、その効果の裏付けとなる基礎研究成果がある。ジベレリンの阻害剤は農薬として市販されていることから、安全性が検証済みであり、かつ安価に利用できる。



口頭発表



意見交換



ポスター展示

発行に向けて  
準備中です

# 鳥取大学特許集2017



現在、「鳥取大学特許集 2017」の発行に向けて準備中です。掲載案件 44 シーズを「医療・健康」「食品・バイオ」「農業・畜産」「機械・加工」「材料・化学」「情報・制御」「環境・エネルギー」の7分野に分類して掲載しています。新しいシーズは「医療・健康」分野に2件追加しました。冊子の発行は、3月を予定しています。

## 新規掲載案件

技術分野	技術の名称【副題】	代表発明者 (出願時所属部等)	頁
医療・健康	甲状腺刺激ホルモンレセプター抗体 (TRAb) アイソタイプ測定を用いたパセドウ病の病態診断キットの開発	長田 佳子(医学部)	1
	ラン科植物の発芽と共生を促進する技術	上中 弘典(農学部)	2

## 2009～2016年版 特許集

毎年、新規案件を追加しています。新規案件には、出願したばかりの未公開特許も掲載しています。

鳥取大学 知的財産シーズ集 2009  
2009年3月  
産学・地域連携推進機構

鳥取大学 知的財産シーズ集 2010  
2010年2月  
産学・地域連携推進機構

鳥取大学 知的財産シーズ集 2011  
2011年3月  
産学・地域連携推進機構

鳥取大学 知的財産シーズ集 2012  
2012年3月  
産学・地域連携推進機構

鳥取大学 特許集 2013  
2013年3月  
産学・地域連携推進機構

鳥取大学 特許集 2014  
2014年3月  
産学・地域連携推進機構

鳥取大学 特許集 2015  
産学・地域連携推進機構

鳥取大学 特許集 2016  
産学・地域連携推進機構

表紙は、学内や特許関連の写真を使用していますが、2015年版からデザインを依頼し、作成しています。

鳥取大学特許集（旧：知的財産シーズ集）は、大学の研究によって生み出された成果を社会に還元し、様々な形で貢献することを目指し、平成21年から毎年発行しています。より多くの方に、大学教員の生み出した特許を知って頂き、技術移転や産学連携へ役立つことができれば幸いです。





# 新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。  
出願時点だけではなく、研究の初期段階から先行技術調査等を通じて、皆様の研究のお役にたてるよう、知財部門一同精進して参ります。本年も気軽にお声掛け下さい。

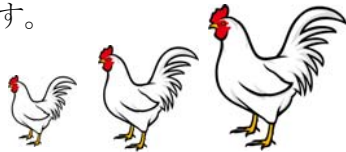
三須 幸一郎

大学特許の技術移転件数も年々増加し、商品化される案件も多くなってきました。研究に関する知財戦略として、研究開始前からでも気軽にご相談ください。

山岸 大輔

あけましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願いたします。  
皆様にとって、色とり（鳥）どりの幸せが訪れる一年でありますようお祈りいたします。

太田 紀子



あけましておめでとうございます。  
今年も知財部門ニュース編集者として、みなさまに読みやすく、親しみやすいニュースを発行していきたいと思っていますので、本年もどうぞよろしくお願致します。

松浦 由美



## 12月の件数



知財部門による特許相談件数 ..... 17件

### 定例特許相談会の件数

下田一弘 弁理士(機能性材料関係他) ..... 5件

富田憲史 弁理士(医獣・バイオ関係他) ..... 3件

発明審査委員会の件数 ..... 5件

\*\*\*刊行物\*\*\*  
知財部門ニュース  
み・ん・なのニュース1月号  
<118号> (通番147号)  
2017年1月1日発行  
編集・著作：  
知的財産管理運用部門  
発行：鳥取大学  
産学・地域連携推進機構

\*\*\* 特許等の相談 \*\*\*  
相談員：三須 幸一郎 (部門長・教授) TEL：0857-31-6000(直通)  
(又は内線 2765)  
山岸 大輔 (副部門長・准教授) TEL：0859-38-6496(直通)  
(又は内線 6496)  
場 所：産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門  
E-mail アドレス：[chizai@ml.adm.tottori-u.ac.jp](mailto:chizai@ml.adm.tottori-u.ac.jp)  
FAX 専用：0857-31-5474 (又は内線 2771)  
産学・地域連携推進機構 HP：<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>